令和８年度１１月補正予算（案）の事業

参　考　資　料

徳　島　県

目　　次

頁

【安心度ＵＰ！】

■防災・減災対策の推進

(1) ㊊ 道路冠水緊急対策事業　【県土整備部】　1

(2) ㊊ 「命をつなぐ応急給水体制」緊急強化事業　【県土整備部】　2

(3) ㊊ 警察災害即応機能強化事業　【警察本部】　3

(4) ㊊ 家屋応急修理対策事業　【危機管理部】　4

(5) ㊊ 美波合同庁舎「基本構想」策定事業　【企画総務部】　5

(6)　「ゼロ県債」を活用した切れ目ない「県土強靱化」の推進　【県土整備部・農林水産部】　6

■県民生活の安全・安心確保

(7)　特殊詐欺等対策事業　【警察本部】　7

【魅力度ＵＰ！】

■県有施設の魅力度向上

(8) ㊊ 大鳴門橋架橋記念館（EDDY）リニューアル事業　【観光スポーツ文化部】　8

(9) ㊊ あすたむらんど公園再整備事業　【観光スポーツ文化部】　9

(10) ㊊ 近代美術館リニューアル記念展開催事業　【観光スポーツ文化部】　10

■欧州における魅力発信

(11) ㊊ Japan EXPO Paris「オール徳島」プロモーション事業　【経済産業部】　11

［県土整備部］

新 道路冠水緊急対策事業

【令和８年度１１月補正予算額　38,000千円】

全国で多発する「短時間集中豪雨」によるアンダーパスでの冠水事故を踏まえ、車両の冠水事故を未然に防止するため、国が本年10月策定したガイドラインに基づき、危険箇所へ物理的な「進入防止設備」を設置するとともに、視覚的にリスクを知らせる「注意喚起対策」などの安全対策を緊急的に強化する。

【１】事業概要

・危険箇所へ物理的な「進入防止設備」を設置
・視覚的にリスクを知らせる「注意喚起対策」の実施

【２】事業費の内訳

・委　託　料：15,000千円
・工事請負費：23,000千円

お問い合わせ先：高規格道路課（088-621-2548）

［県土整備部］

新「命をつなぐ応急給水体制」緊急強化事業

【令和９～１０年度債務負担行為設定額　100,000千円】

南海トラフ巨大地震発災時の広域的・長期的な断水を想定し、「命の水」となる飲料水を確保するため、応急給水体制の早期構築に向け、市町村が行う必要な資機材整備に対し、緊急的に支援する。

【補助対象】

・応急給水に必要な給水車や、その水源となる浄水装置などの配備を実施する市町村

【補助要件】

・発災時の応急給水体制に関する「マニュアル」の策定を行っていること
・県からの補助金を防災を目的とする基金へ積み立てること

【対象経費】

・給水車や可搬式浄水装置の購入に要する経費の一部

【補助内容】

・補助額（上限額）：5,000千円
・補助率：国費や交付税措置を除く市町村一般会計の「実質的な負担額」に対する1/2

お問い合わせ先：水環境整備課（088-621-2742）

［警察本部］

㊕ 警察災害即応機能強化事業

【令和８年度１１月補正予算額　8,370千円】

令和８年熊本地震における警察部隊派遣活動の検証結果等を踏まえ、
部隊の「持続可能性」及び「初動対応能力」の向上を図るため、災害対策資機材の拡充整備に取り組む。

【１】ソーラーパネル付きポータブル電源：3,000千円

被災現場に展開する実働部隊において増大する電力ニーズに対応するため、
持続可能性及び機動性を両立させる電源インフラとして「ソーラーパネル付きポータブル電源」を整備

【２】暑熱対策用装備：1,683千円

近年の酷暑下の災害現場活動においても、警察官の健康管理や災害対応のパフォーマンス維持のため、
「暑熱対策用装備」を整備

【３】災害対策用ドローン：3,687千円

実働部隊の安全確保と迅速な現場対応、効率的な部隊運用を行うため、
遠隔操作によって二次被害を防ぎつつ、情報収集等が可能な「災害対策用ドローン」を整備

【４】事業費の内訳

・備品購入費：6,687千円
・事　務　費：1,683千円

お問い合わせ先：警備課（088-622-3101）

［危機管理部］

㊕家屋応急修理対策事業

【令和８年度１１月補正予算額　6,650千円】

　令和８年熊本地震の教訓を踏まえ、
南海トラフ巨大地震をはじめ大規模地震発生時の大雨等、複合災害に備えるため、
被災家屋の応急修理に必要な資機材を、市町村を通じて被災者へ迅速に提供する体制を整備する。

【１】事業概要

　被災家屋の応急修理に必要なブルーシート、土のう袋、固定ロープ等の資機材を備蓄する。

【２】事業費の内訳

　事務費：6,650千円

お問い合わせ先：防災対策推進課被災者支援推進室（088-621-2108）

［企画総務部］

㊕美波合同庁舎「基本構想」策定事業

【令和８年度１１月補正予算額　16,800千円】

南海トラフ巨大地震等に備えた南部圏域の強固な防災拠点基盤を構築するため、
美波合同庁舎の早期高台移転の実現に向け、美波町が進める高台整備地に隣接するエリア周辺における
最適な整備規模や概算事業費等を検討し、「基本構想」を策定する。

【１】事業概要

・現況把握及び敷地・周辺環境分析
・基本計画図面の作成及び比較検討
・技術的、環境的、法的課題の整理
・関係機関協議資料の作成

【２】事業費の内訳

委託料：16,800千円

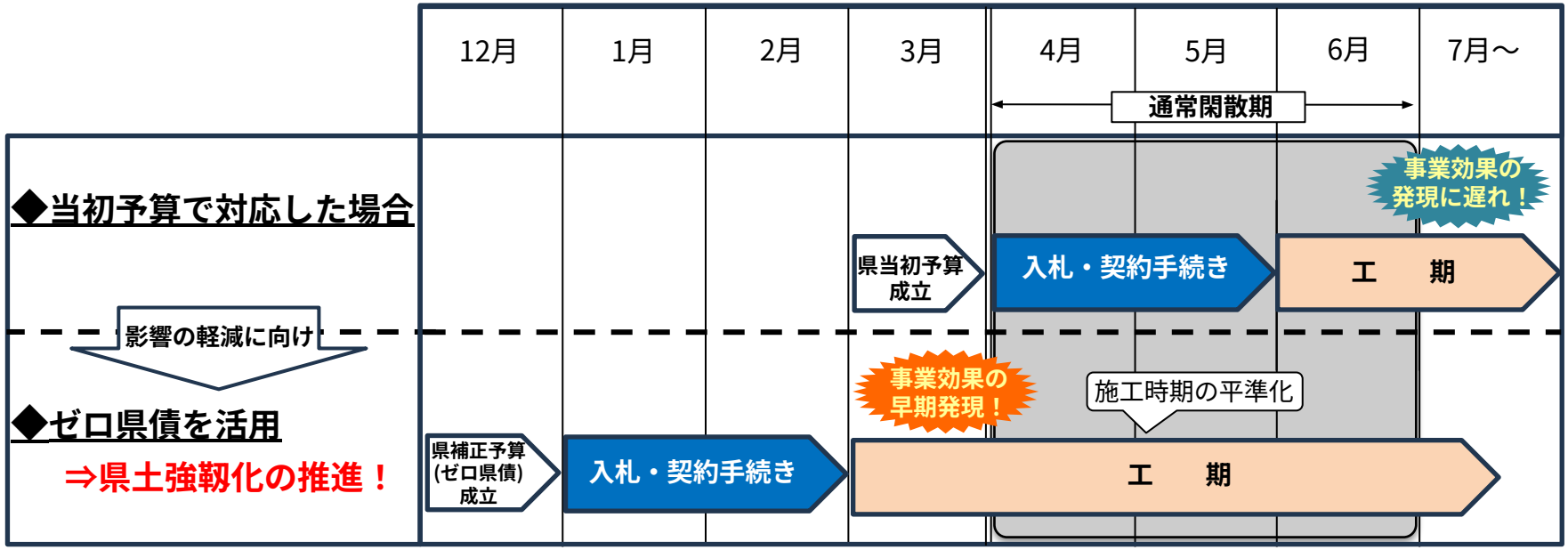
お問い合わせ先：管財課（088-621-2064）

［県土整備部・農林水産部］

「ゼロ県債」を活用した切れ目ない「県土強靭化」の推進

【令和９年度債務負担行為設定額　7,000,000千円】

国の「補正予算依存からの脱却」など、予算編成を取り巻く環境の変化に伴う影響を軽減するため、
翌年度事業の一部を今年度中に前倒し発注可能とする「ゼロ県債」を活用し、
切れ目ない「県土強靭化」を推進することにより、事業効果を早期に発現し「施工時期の平準化」を図る。



お問い合わせ先：県土整備政策課（088-621-2533）、建設管理課（088-621-2622）、農山漁村振興課（088-621-2435）

［警察本部］

特殊詐欺等対策事業

【令和８年度１１月補正予算額　1,595千円】

　依然として深刻な状況が続く特殊詐欺等の被害から県民を守るため、相談件数の増加等の顕在化したニーズに応じ、「不審電話撃退装置」の追加配布をはじめとした、特殊詐欺等に対する免疫力向上に資する防犯対策を更に推進する。

【１】事業概要

　不審電話撃退装置の無償配布、防犯アプリのインストール促進、最新手口に基づく防犯指導等重層的な被害防止対策を講じることで、県民の特殊詐欺等の被害に対する免疫力向上を推進する。

（不審電話撃退装置）
　固定電話での通話開始時に警告メッセージを流す機能や通話内容を自動録音する機能を備えた装置

（防犯アプリ）
・特殊詐欺の手口や具体的な防犯対策情報を通知する機能等を備えた徳島安全安心アプリ「スマートポリス」
・詐欺に使用された番号や海外からの怪しい着信を検知・警告する機能等を備えた警察庁が推奨する「特殊詐欺対策アプリ」

【２】事業費の内訳

　事務費：1,595千円

お問い合わせ先：生活安全企画課（088-622-3101）

［観光スポーツ文化部］

㊕大鳴門橋架橋記念館（EDDY）リニューアル事業

【令和８年度１１月補正予算額　300,000千円】

今後の大鳴門橋自転車道の開通に伴い、増加が見込まれるサイクリストへのきめ細やかなサービスを提供するとともに、一般来場者の周遊を促進するため、大鳴門橋架橋記念館（EDDY）を改修する。

【１】事業概要

①１階事務所エリア
レンタサイクルスペースを整備するなど、自転車観光拠点としての機能強化

②２階展示エリア
観光情報ラウンジ、物販スペースへ刷新するなど、県内の広域周遊を促す交流・休憩スペースとして再編

③その他
３階展示エリアのリニューアル、屋上及び外観の改修整備による魅力的な空間づくり

【２】事業費の内訳

・委　託　料：　45,000千円
・工事請負費：255,000千円

お問い合わせ先：観光スポーツ文化政策課（088-621-2146）

［観光スポーツ文化部］

新 あすたむらんど公園再整備事業

【令和８年度１１月補正予算額　　1,700千円】
【令和９年度債務負担行為設定額　160,000千円】

あすたむらんどの段階的リニューアルとして、「公園エリア」の再整備に着手し、
老朽化への対応や新たなコンテンツ導入など、あらゆる世代が年間を通じて快適に過ごせる
「遊びと憩いの拠点」づくりを目指す。

【１】事業概要

「公園エリア」の再整備設計（令和９年度債務負担行為設定額 160,000千円）

令和８年度中の公募型プロポーザルによる事業者選定、令和９年度早期の設計着手を目指し、
設計費の債務負担行為を設定する。

【施設再整備のイメージ】
- インクルーシブな観点を取り入れた遊具の導入
- 暑さ対策（日除けや水遊び場等の再整備）
- 風車の丘の景観整備
- 夜間照明の整備
- 吉野川めぐりの演出刷新　等

【２】事業費の内訳

事務費：1,700千円（プロポーザル審査経費等）

お問い合わせ先：交流拠点戦略課施設活用推進室（088-621-2148）

［観光スポーツ文化部］

㊕ 近代美術館リニューアル記念展開催事業

【令和８年度１１月補正予算額　　1,500千円】
【令和９年度債務負担行為設定額　11,000千円】

近代美術館では、２階展示室を、より美しく見やすい鑑賞環境と作品保護を両立した空間へと刷新するため、現在、最新LED照明への改修工事を実施しており、令和９年４月上旬まで展示室エリアを休室としている（１階ギャラリー等は利用可能）。

お待ちいただいている県民の皆様に、親しみやすい企画で近代美術館の再始動を強く印象付けるため、令和９年度に「リニューアル記念展」として、

・田中達也「ミニチュアライフ展」（会期：令和９年　４月～　６月）
・「動くゴッホ展」　　（会期：令和９年１０月～１２月）

を開催することとし、広く県民の皆様に関心を持っていただくため、年度内から早期広報等を実施することにより、集客最大化に取り組む。

【１】事業概要

令和８年度中にリニューアル記念展の実行委員会を立ち上げ、前売券の販売や、テレビCM・各種印刷物による効果的な周知・広報を速やかに実施する。

【２】事業費の内訳

負担金：1,500千円（実行委員会令和８年度負担金）

お問い合わせ先：近代美術館（088-668-1088）

［経済産業部］

㊕ Japan EXPO Paris「オール徳島」プロモーション事業

【令和８年度１１月補正予算額　　5,000千円】
【令和９年度債務負担行為設定額　30,000千円】

欧州市場における本県の認知度・ブランド力向上や観光誘客の促進を図るため、
本年６月の大相撲パリ公演に合わせて開催された「JAPAN VILLAGE 2026 in PARIS」への出展経験を活かして、
欧州最大級の日本文化総合博覧会「Japan EXPO Paris（ジャパン・エキスポ・パリ）2027」に
「徳島ブース」を出展する。

会場では、藍染体験や阿波おどりなどの「文化」体験コンテンツとともに、
輸出が拡大する「ゆず」をはじめ、「梅酒」などのリキュール、藍染製品など
本県が誇る「食」や「伝統工芸品」のプロモーションを一体的に展開する。
併せて、現地アンテナショップ、ジェトロ等と連携し、県産品の欧州展開に向け、
現地バイヤーを対象とした商談機会を創出する。

【１】事業概要

「オール徳島」での効果的なプロモーションを展開するため、ブースのコンセプトや空間デザイン、
体験型コンテンツ等の企画・基本計画を策定する。

・名称：Japan EXPO Paris 2027
・日程：令和９年７月８日～１１日
・会場：パリ・ノール・ヴィルパント見本市会場

【２】事業費の内訳

委託料：5,000千円

お問い合わせ先：商務戦略課（088-621-2321）